

Ⅸ 資料

1 第3期登別市障がい福祉計画における平成26年度の数値目標に対する達成状況

(1) 福祉施設入所者の地域生活への移行

項目	平成26年度目標数	平成25年度末	達成率
入所者数	72人	75人	104.2%
施設入所減少見込数	61人	58人	95.1%

※ 施設入所減少見込数は、平成17年10月1日現在入所者数（133人）から差し引いた数値。

(2) 福祉施設から一般就労への移行

項目	平成26年度目標数	平成25年度末	達成率
目標年度の年間一般就労移行者数	7人	7人	100.0%

(3) 就労移行支援事業の利用者数

項目	平成26年度目標数	平成25年度末	達成率
目標年度の就労移行支援の利用者数	20人	7人	35.0%

(4) 就労継続支援事業の利用者数

項目	平成26年度目標数	平成25年度末	達成率
目標年度の就労継続支援（A型、B型）の利用者	218人	129人	59.2%
目標年度の就労継続支援（A型）の利用者数	33人	26人	78.8%

2 サービスの利用状況

(1) 相談支援体制

区分	単位	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H25 実績	H26 見込
指定特定相談支援事業者	箇所	1	1	1	1	1
	延件数/月	19	65	30	86	110
市児童デイサービスセンター	箇所	1	1	1	1	1
	延件数/月	30	72	40	44	40

(2) 訪問系サービス

区分	単位	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H25 実績	H26 見込
居宅介護	時間/月	1,101	304	1,136	421	440
	事業所数	5	5	5	5	6
重度訪問介護	時間/月	312	180	312	192	192
	事業所数	5	4	5	4	4
行動援護	時間/月	22	0	22	0	0
	事業所数	1	1	1	1	1
同行援護	時間/月	91	56	104	69	70
	事業所数	2	3	2	3	3
重度障害者等包括支援	時間/月	0	0	0	0	0
	事業所数	—	0	—	0	0

※ 平成25年度末における実利用人数は、居宅介護49人、重度訪問介護1人。

※ 事業所数は、市内指定事業所数です。

(3) 日中活動系サービス

事業名	単位	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H25 実績	H26 見込
療養介護	実人数/月	3	10	3	10	10
	事業所数	0	0	0	0	0
生活介護	実人数/月	134	118	144	128	125
	延人数/月	2,948	2,315	3,168	2,458	2,500
	事業所数	17	22	17	23	21
自立訓練 (機能訓練)	実人数/月	0	0	0	0	0
	延人数/月	0	0	0	0	0
	事業所数	0	0	0	0	0
自立訓練 (生活訓練)	実人数/月	0	2	5	2	1
	延人数/月	0	16	110	22	22
	事業所数	0	1	1	1	1
就労移行支援	実人数/月	11	11	19	7	8
	延人数/月	242	182	418	95	160
	事業所数	4	6	5	5	7
就労継続支援 (A型)	実人数/月	27	24	30	26	26
	延人数/月	594	496	660	624	600
	事業所数	2	5	2	6	6
就労継続支援 (B型)	実人数/月	133	111	185	103	118
	延人数/月	2,926	2,011	4,070	2,064	2,220
	事業所数	14	15	15	15	16
短期入所	実人数/月	4	3	8	4	5
	延人数/月	20	36	40	43	48
	事業所数	11	9	12	9	9
合計	実人数/月	312	279	394	280	293
	延人数/月	6,730	5,056	8,466	5,306	5,843

※ 事業所数については、登別市及び近隣市町（室蘭市、伊達市、白老町）に所在する事業所数を掲載しています。

(4) 居住系サービス

事業名	単位	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H25 実績	H26 見込
共同生活援助 (グループホーム)	実人数/月	95	80	103	81	83
	市内の人数/月	19	9	22	9	11
	市内の箇所	7	7	8	8	9
施設入所支援	実人数/月	76	78	74	75	72
合計	実人数/月	171	158	177	156	155

(5) 地域生活支援事業

事業名	単位	H24 計画	H24 実績	H25 計画	H25 実績	H26 見込
住宅入居等支援事業	実人数	2	0	3	0	4
	事業所数	1	1	1	1	2
コミュニケーション支援事業	実人数	6	3	6	5	6
	事業所数	1	1	1	1	1
日常生活用具給付等事業	件/年	1,370	1,162	1,317	1,161	1,340
介護・訓練支援用具	件/年	4	0	3	7	5
自宅生活支援用具	件/年	19	19	18	25	20
在宅療養等支援用具	件/年	8	10	11	5	8
情報・意思疎通支援用具	件/年	11	8	10	9	7
排せつ管理支援用具	件/年	1,325	1,122	1,272	1,112	1,297
居室生活動作補助用具	件/年	3	3	3	3	3
移動支援事業	実人数	20	12	20	15	15
	延時間/年	440	417	484	481	670
	箇所	4	6	4	5	5
地域活動支援センター						
基礎的事業	箇所	3	1	3	1	3
	実人数	72	54	74	51	78
機能強化事業	箇所	1	1	1	1	1
日中一時支援事業	実人数	18	21	25	22	23
	事業所数	1	2	2	2	2
訪問入浴サービス事業	実人数	2	2	2	3	3
	事業所数	1	1	1	1	1
自動車運転免許取得・改造助成事業	件/年	3	7	5	2	5

※ 事業所数については、実際に利用されている事業所数を掲載しています。

3 福祉に関するアンケート調査

本計画を策定するにあたり、平成26年6月1日現在で障害者手帳をお持ちの方を対象にアンケート調査を実施しました。

※ 7ページ以降に記載のある「VI 登別市における障がい者の状況」（平成26年3月末現在）の障がい者数は、基準日が異なることなどからアンケートの実施件数とは一致しません。

※ 掲載している表は百分率で記載していますが、四捨五入等の関係で合計が100%にならない場合があります。

(1) 実施概要

- ①調査期間 平成26年7月4日から7月18日まで
- ②調査方法 アンケート用紙を郵送し、返信用封筒により回収

(2) 調査数及び回答数

①アンケート対象者とアンケートに回答していただいた方の状況 (単位: 件)

区分	発送件数	回収件数	回収率 (%)
身体障害者手帳	2, 561	1, 299	50.72%
療育手帳	316	134	42.41%
精神障害者保健福祉手帳	267	145	54.31%
合計	3, 144	1, 578	50.20%
再計 (※1)	2, 883	1, 534	53.21%

※1 アンケート対象者は、重複して手帳を所持している方（身体と療育両方の手帳を持っている等）や手帳の住所変更をしていない方などがいるため、実際の発送・回収件数は、「再計」の件数となります。

表① 年齢・障がい種別ごとの障害者手帳所持者数（平成26年3月末現在）

（単位：人）

手帳別 年齢	身体障害者手帳						療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳			計	割合 (%)
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級		
0～6	7	2		1		1	2	5				18	0.6
7～12	12	3	1	3			9	20				48	1.5
13～15	3	1	2	2		1	7	12				28	0.9
16～18	3		2	2		1	10	19				37	1.2
19～30	12	7	9	3	1		25	45		11	3	116	3.6
31～40	14	10	3	16	6	6	30	36	4	31	8	164	5.2
41～50	39	15	17	11	5	7	21	43	11	55	9	233	7.3
51～60	56	35	30	46	23	17	15	22	12	31	9	296	9.2
61～64	54	39	35	49	20	9	9	8	7	20	3	253	7.9
65以上	527	283	318	561	124	98	13	6	19	28	14	1,991	62.6
計	727	395	417	694	179	140	141	216	53	176	46	3,184	100.0
割合(%)	22.8	12.4	13.1	21.8	5.6	4.4	4.4	6.8	1.7	5.5	1.4	100.0	

表①は、年齢別・障がい種別ごとの障害者手帳所持者数です。年齢別で比較すると、65歳以上の占める割合が62.6%と高くなっており、65歳未満は37.4%となっています。

この表は、年齢別構成を学齢前、小・中学生、高校生、労働年齢などで区切っていますが、年齢階層が高くなるほど人数は多くなる傾向にあります。

※ 表①は、複数の障害者手帳を所持している方をそれぞれの障害者手帳の欄に掲載していることや基準日が異なるため、実際の発送件数3,110件と合計が異なります。

表② 年齢・障がい種別ごとの回答件数

(単位：件)

手帳別 年齢	身体障害者手帳						療育 手帳		精神障害者 保健福祉手帳			計	割合 (%)
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級		
0～6	2	1										3	0.2
7～12	7			1			3	7				18	1.1
13～15				1			1	3				6	0.4
16～18	3					1	3	7				14	0.9
19～30	7	4	4	1		1	10	22		3	4	56	3.5
31～40	5	8	1	7	3	1	4	11	1	12	1	54	3.4
41～50	22	14	7	5		1	6	14	7	22	4	102	6.5
51～60	28	21	27	23	8	9	7	9	4	14	3	153	9.7
61～64	29	25	15	27	6	6	2	2	4	11	2	129	8.2
65以上	272	151	176	260	59	48	10	11	19	18	14	1,038	65.8
無回答		1	1					2	1	1		6	0.4
計	375	225	231	325	76	67	46	88	36	81	28	1,578	100.0
割合(%)	23.8	14.3	14.6	20.6	4.8	4.2	2.9	5.6	2.3	5.1	1.8	100.0	-

表②は、アンケートに回答していただいた方の年齢別・障がい種別の状況となっています。年齢別構成では、表①と同様に65歳以上の占める割合が一番多く61.5%、次に多いのも51～60歳の11.1%となっています。

全体的にもほぼ表①の割合との差があまりないことから、アンケートの実回収率は、53.2%ですが、年齢別構成では偏りのない統計となっていると考えられます。

また、表には掲載していませんが、回答者の性別は、男性746名(45.8%)、女性840名(51.5%)、無回答44名(2.7%)となっており、女性が男性を94名上回っています。

この男女の割合を、平成24年3月末の登別市の人口の男女の割合と比較すると、人口に占める割合は、男性47.5%、女性52.5%であり、手帳所持者の割合とほぼ一致していることから、本市の障害者手帳所持者の性別での偏りは少ないと考えられます。

※ 表②は、複数の障害者手帳を所持している方の数をそれぞれの障害者手帳の欄に掲載しているため、実際の回収件数1,630件と合計が異なります。

表③ 身体障がい者の年齢別障がい内容

(単位：件)

障がい名 年齢	視覚 障がい	聴覚・平衡 機能障がい	音声・言語・咀 嚼機能障がい	肢 体 不自由	内 部 障がい	合計	割合 (%)
0～6				2	1	3	0.2
7～12	2		1	9	4	16	1.2
13～15					1	1	0.1
16～18		1		5		6	0.4
19～30				11	5	16	1.2
31～40		3	1	12	6	22	1.6
41～50	2	3	1	26	21	53	3.9
51～60	8	3	4	76	28	119	8.7
61～64	9	2	5	75	22	113	8.3
65 以上	46	86	27	587	270	1,016	74.3
無回答				1	1	2	0.1
計	67	98	39	804	359	1,367	100
割合 (%)	4.9	7.2	2.9	58.8	26.3		

表③は、アンケートに回答していただいた方のうち、身体障害者手帳所持者の年齢・障がい部位別による集計となっています。年齢別構成は、表①、表②と同様に年齢が高くなるほど人数が多くなっています。

障がい部位別では、肢体不自由が804名(58.8%)、内部障がいが359名(26.3%)となっています。

※ 身体障害者手帳所持者から回収した内容をもとに、障がいの部位別の状況を表しています。

※ 重複障がいの方もいるため、表②と身体障害者手帳所持者の件数とは一致しません。

表④-1 年齢・障がい・居住区別回答者件数

(単位：件)

手帳別 居住区	身体障害者手帳						療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳			計	割合 (%)
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級		
登別温泉・登別	45	32	30	44	10	13	5	4	6	15	5	209	13.2
幌別中央東	55	40	34	61	13	7	6	16	11	11	3	257	16.3
幌別中央西	68	40	37	43	14	16	7	17	4	16	2	264	16.7
緑陽	87	43	53	73	16	11	8	15	4	12	6	328	20.8
鷺別・栄	27	20	25	25	9	5	4	11	5	13	3	147	9.3
美園・若草	58	34	42	66	11	10	4	9	4	8	7	253	16.0
市外	20	4	4	4	2	4	10	5	1	1	1	56	3.5
無回答	15	12	6	9	1	1	2	11	1	5	1	64	4.1
計	375	225	231	325	76	67	46	88	36	81	28	1,578	100

表④-2 居住区の内訳及び当該地区の人口割合等

居住区	町名	人口 (人)	手帳所持者 数(人)	割合 (%)
登別温泉・登別	カルルス町、登別温泉町、上登別町、中登別町、 登別東町、登別本町、登別港町、富浦町	5,538	209	3.8
幌別中央東	幸町、新栄町、札内町、来馬町、幌別町、 千歳町、常盤町、中央町	8,741	257	2.9
幌別中央西	柏木町、富士町、片倉町、新川町、川上町、 鉾山町	8,359	264	3.2
緑陽	桜木町、青葉町、緑町、大和町、若山町、 富岸町、新生町	13,659	328	2.4
鷺別・栄	鷺別町、栄町	5,946	147	2.5
美園・若草	美園町、上鷺別町、若草町	8,352	253	3.0
市外	登別市外の施設等の入所者	—	56	—
無回答	—	—	64	—

表④-1は、アンケートに回答していただいた方の居住区を表しています。

表④-2では、平成26年3月末現在人口の居住区別割合とアンケート回答者の居住区別割合を比較しています。

回答者の中には、無回答の方や施設入所者等で登別市に住所がない方もいるため正確な比較はできませんが、地域別に大きな違いはないと考えられます。

(3) アンケートの回答結果

アンケートでは全部で38問お聞きしましたが、その中で主な設問について回答結果をまとめました。今回のアンケート結果につきましては、今後の障がい福祉施策を推進するための資料として使用します。

1. 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

項目	ひとりでできる(人)	一部介助が必要(人)	全部介助が必要(人)
① 食事	1,275	128	69
② トイレ	1,286	90	99
③ 入浴	1,110	196	164
④ 衣服の着脱	1,235	133	101
⑤ 身だしなみ	1,173	186	102
⑥ 家の中の移動	1,225	126	108
⑦ 外出	910	324	218
⑧ 家族以外の人との意思疎通	1,119	208	91
⑨ お金の管理	1,073	170	212
⑩ 薬の管理	1,115	158	200

一部・全部介助の必要が多い項目としては、外出(37.3%)、お金の管理(26.3%)、入浴(24.5%)となっており、特に外出に介助を必要としている方が多い結果となっています。

【1で2または3を選択した場合にお答えください。】

2. あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。

項目	人数
① 父母・祖父母・兄弟	127
② 配偶者(夫または妻)	309
③ 子ども	213
④ ホームヘルパーや施設の職員	184
⑤ その他の人(ボランティア等)	25

主な介助者は配偶者が多く、次いで子どもとなっており、親族が介助者となっている割合は75.7%となっています。

【2で1～3を選択した場合にお答えください。】

3. あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

(単位：人)

年齢		性別		健康状態	
10代	0	男	256	よい	154
20代	8	女	477	ふつう	441
30代	30	計	733	わるい	170
40代	54			計	705
50代	137				
60代	185				
70代～	291				
計	705				

介助者の年齢をみると70代以上が41.3%で高齢化が進んでおり、性別では女性が65.1%、健康状態が「よい」と「わるい」を比較するとわるいの方が多い状態となっております。一概には言えませんが、介助負担が健康状態に影響している可能性は否めません。

4. あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

※ 難病（特定疾患）とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

1. 受けている	148人	2. 受けていない	1,164人
----------	------	-----------	--------

5. あなたは発達障害として診断されたことがありますか。（○は1つだけ）

※ 発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

1. ある	80人	2. ない	1,164人
-------	-----	-------	--------

6. あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。

(○は1つだけ)

※ 高次脳機能障害とは、一般に外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受け、その後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」などの症状があります。

1. ある	74人	2. ない	1,254人
-------	-----	-------	--------

7. あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

項目	人	項目	人
1. 気管切開	16	7. 中心静脈栄養 (IVH)	2
2. 人工呼吸器 (レスピレーター)	14	8. 透析	83
3. 吸入	34	9. カテーテル留置	23
4. 吸引	18	10. ストマ (人工肛門・人工膀胱)	59
5. 胃ろう・腸ろう	30	11. 服薬管理	316
6. 鼻腔経管栄養	13	12. その他	226

何らかの医療ケアを受けている方は、延べ834人となっています。

8. あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

項目	人
1. 一人で暮らしている	257
2. 家族と暮らしている	1,052
3. グループホームで暮らしている	28
4. 福祉施設で暮らしている	60
5. 病院に入院している	68
6. その他	9
計	1,474

「家族と暮らしている」が71.4%と最も多く、地域で暮らしている方は90.7%となっています。

【9及び10は、8で4または5を選択した場合にお答えください。】

9. あなたは将来、地域で生活したいと思いませんか。(○は1つだけ)

項目	人
1. 今のまま生活したい	79
2. グループホームなどで暮らしたい	8
3. 家族と一緒に生活したい	27

4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい	8
5. その他	6
計	128

「今のまま生活したい」が61.7%と多く、次いで「家族と一緒に生活したい」が21.1%となっています。

【8で4または5を選択した場合にお答えください。】

10. 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

項目	人
1. 在宅で医療ケアなどが適切に得られること	42
2. 障がい者に適した住居の確保	40
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること	47
4. 生活訓練等の充実	26
5. 経済的な負担の軽減	39
6. 相談対応の充実	25
7. 地域住民等の理解	11
8. その他	5

必要な在宅サービスや医療ケアはもちろんのこと、障がい者等が暮らしやすい住居が必要と考えられます。

11. あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

項目	人
1. 毎日外出する	358
2. 1週間に数回外出する	730
3. めったに外出しない	291
4. まったく外出しない	85
計	1,464

【12から15は、11で、1～3を選択した場合にお答えください。】

12. あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(〇は1つだけ)

項目	人
1. 父母・祖父母・兄弟	116
2. 配偶者(夫または妻)	380
3. 子ども	168
4. ホームヘルパーや施設の職員	120
5. その他の人(ボランティア等)	24
6. 一人で外出する	556
計	1,364

13. あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

(あてはまるものすべてに〇)

項目	人	項目	人
1. 通勤・通学・通所	236	6. 趣味やスポーツをする	233
2. 訓練やリハビリに行く	173	7. グループ活動に参加する	134
3. 医療機関への受診	893	8. 散歩に行く	419
4. 買い物に行く	955	9. その他	86
5. 友人・知人に会う	314		

14. 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

項目	人
1. 公共交通機関が少ない(ない)	174
2. 列車やバスの乗り降りが困難	305
3. 道路や駅に階段や段差が多い	416
4. 切符の買い方や乗換えの方法が分かりにくい	102
5. 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	194
6. 介助者が確保できない	61
7. 外出にお金がかかる	229
8. 周囲の目が気になる	75
9. 発作など突然の身体の変化が心配	148
10. 困った時にどうすればいいのか心配	187
11. その他	70

外出する際は、一人で外出する方が多いほか、同伴者は配偶者や子どもなどの親族が多く、目的は買い物や医療機関の受診が多い結果となっています。

また、外出の際の困りごととしては、階段や段差が多いこと、列車やバスの乗り降りが多くを占めています。

15. あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

項目	人
1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	157
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	22
3. 専業主婦(主夫)をしている	224
4. 福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)	70
5. 病院などのデイケアに通っている	77
6. リハビリテーションを受けている	69
7. 自宅で過ごしている	663
8. 入所している施設や病院等で過ごしている	104
9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	1
10. 特別支援学校(小中高等部)に通っている	22
11. 一般の高校、小中学校に通っている	15
12. 幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている	2
13. その他()	23

【15で、1. を選択した場合にお答えください。】

16. どのような勤務形態で働いていますか。(〇は1つだけ)

項目	人
1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない	39
2. 正職員で短時間勤務などの障がいに関する配慮がある	9
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	69
4. 自営業、農林水産業など	27
5. その他	10

収入を得て仕事をしている方のうち、パートやアルバイト等の非常勤職員が多くを占めています。

【17・18は15で、2～13を選択した18～64歳の方にお聞きします。】

17. あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いませんか。(〇は1つだけ)

項目	人	項目	人
1. 仕事をしたい	150	2. 仕事はしたくない	163
3. その他	72		

18. 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いませんか。

(〇は1つだけ)

項目	人	項目	人
1. すでに職業訓練を受けている	27	職業訓練を受けたい	105
3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない			270

回答した方の割合としては、仕事をしたいが39.0%、したくないが42.3%となっており、すでに職業訓練を受けているは6.7%、職業訓練を受けたいは26.1%となっています。

19. あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いませんか。

(あてはまるものすべてに〇)

項目	人
1. 通勤手段の確保	270
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	186
3. 短時間勤務や勤務日数等の配慮	294
4. 在宅勤務の拡充	156
5. 職場の上司や同僚等に障がいの理解があること	416
6. 職場で介助や援助等が受けられること	177
7. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	197
8. 企業ニーズに合った就労	155
9. 仕事についての職場外での相談対応、支援	209
10. その他	26

就労支援に必要なことに関しては、職場における障がいへの理解が最も多く、次いで短時間勤務や勤務日数等の配慮、通勤手段の確保となっています。

20. あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

項目	人
1. 家族や親せき	1,100
2. 友人・知人	378
3. 近所の人	123
4. 職場の上司や同僚	44
5. 施設の指導員など	133
6. ホームヘルパーなどサービス事業所の人	109
7. 障害者団体や家族会	39
8. かかりつけの医師や看護師	405
9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	218
10. 民生委員児童委員	54
11. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	25
12. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	35
13. 行政機関の相談窓口	119
14. その他（ ）	31

悩みごとの相談相手は、家族や親せきが全体の39.1%を占めており、次いでかかりつけの医師や看護師が14.4%となっています。

21. あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

項目	人
1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	617
2. 行政機関の広報紙	492
3. インターネット	110
4. 家族や親せき、友人・知人	432
5. サービス事業所の人や施設職員	177
6. 障害者団体や家族会（団体の機関誌など）	73
7. かかりつけの医師や看護師	280
8. 病院のケースワーカーや介護保険のケマネジャー	272
9. 民生委員児童委員	43
10. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	16
11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	31
12. 行政機関の相談窓口	111
13. その他（ ）	28

情報を知るうえで最も多いのが本や新聞、テレビ、ラジオで、次いで行政機関の広報紙となっています。

22. あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

項目	人	項目	人	項目	人
1. ある	218	2. 少しある	261	3. ない	765

差別や嫌な思いをする（した）ことがある、少しあると答えた方は、合わせて38.5%となっています。

【22で、1または2と回答された方にお聞きします。】

23. どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

項目	人	項目	人
1. 学校・仕事場	141	2. 仕事を探すとき	94
3. 外出先	183	4. 余暇を楽しむとき	74
5. 病院などの医療機関	92	6. 住んでいる地域	90
7. その他 ()	18		

24. 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

項目	人
1. 名前も内容も知っている	324
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	395
3. 名前も内容も知らない	512

名前も内容も知っていると答えた方は、26.3%となっています。

25. あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

項目	人	項目	人	項目	人
1. できる	556	2. できない	503	3. わからない	285

一人で避難できると答えた方の割合は、41.4%となっています。

26. 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

項目	人	項目	人	項目	人
1. いる	429	2. いない	395	3. わからない	458

助けてくれる方がいると答えた方の割合は、33.5%となっています。

4 市内障害福祉サービス事業所（平成27年4月1日現在）

事業所名	所在地	電話	提供サービス
介護サポーターなのはな	柏木町 3-17-14	81-6520	居宅介護、重度訪問介護、行動援護 同行援護
特定非営利活動法人 いぶりたすけ愛 優サービス	桜木町 3-2-10	88-3003	居宅介護、重度訪問介護
ヘルパーステーション あおい（愛桜）	登別東町 3-1-2	83-4039	居宅介護、重度訪問介護、同行援護
ケアステーションはまなす	登別東町 2-15-21	80-1000	居宅介護、重度訪問介護
ジャパンケア登別	富岸町 2-11-12	82-1777	居宅介護、重度訪問介護、同行援護
訪問介護ステーション アイケア登別	登別東町 3-21-2	80-1701	居宅介護、重度訪問介護
地域生活支援センター o n e s e l f	常盤町 1-1-25	85-7518	共同生活援助（グループホーム）
グループホームアザリア	中登別町 141-5	83-0311	共同生活援助（グループホーム）
精神障害者グループホーム のぞみ寮	鷺別町 2-32-1	82-2200	共同生活援助（グループホーム）
障害者グループホーム カワ セミ（翡翠）ヤマセミ（山翡翠）	中登別町 141-56	83-0700	共同生活援助（グループホーム）
多機能型事業所ピアチェーレ	中登別町 24-120	83-3210	就労移行支援、就労継続支援（B型）
一般社団法人 いぶり花づくりネットワーク	富岸町 1-10-7	85-1145	就労継続支援（A型）
就労継続支援施設 月とらいおん	幸町 3-6	88-1374	就労継続支援（B型）
すずかけ	富士町 7-1-1	85-2129	就労継続支援（B型）
フロンティア登別	中登別町 88-2	83-7878	就労継続支援（B型）
登別市総合相談支援センター e n	美園町 2-23-1	86-0707	計画相談支援、地域移行支援 地域定着支援

5 市内障害児通所支援事業所（平成27年4月1日現在）

事業所名	所在地	電話	提供サービス
登別市児童デイサービスセンター のぞみ園	幌別町 3-17-4	85-7721	児童発達支援、放課後等デイサービス